

令和4年度 学校関係者評価アンケート結果（記述）

アンケートの自由記述です。誤字・脱字等はそのまま記載します。ただし、なるべく個人が特定されないよう、調整したところもございます。予めご了承ください。

質問①：学校は、学校教育目標達成（目指す児童像・学校像）に向けて、全教職員で組織的に取り組んでいる。

- 学校目標の見直しを、校長先生を中心に現在の広沢小学校の実態、未来に向けてを考え話し合いを行った。今年度、校長先生の経営方針もふまえ、丁寧な説明がされたようで、教職員が意識して折り組んでいることがわかるから。
- 表面上の判断となります。全職員の取り組みはみえないです。接点がふえれば良いと思います。
- 学校教育目標、学校経営方針が良く整理されており、全教員がこれを共有して進めていると思います。
- 校長先生、教頭先生をはじめとして、広沢小学校をこうしていきたいということが分かりやすく示されていると思います
- 令和4年度から具体的な学校像などを定めたことにより、教職員も取り組みやすくなったと考えるし、評価もしやすくなった。
- 熟議ミーティングなどを先生たちがチームをつくって全体で取り組んでいるから

質問②：学校は、校務分掌において機能的に役割を分担するとともに、打ち合わせや会議等が円滑に行われるような体制づくりに努めている。

- 先生方の評価は下がったようですが、（新たな学校教育部）などを設けたり工夫を感じている。校務分掌は職員アンケートにもあったように偏りなく平均化を図り、主任だけの負担大にならないことが望ましいと思う。それには引き継ぎも踏まえて二年はその分掌を受け持ち、誰でも主任になれること、仕事ができることが大切ではないかと考える。新しい主任に交代したら、前主任が補佐するとか、工夫できることを考えてみる。
- 会議など、傍聴できればと思いますが現実的ではないよね・・・
- 学校経営方針の実現に向けて「新たな学校教育部会」を設けるなどの工夫をしているが、まだ十分に機能してないと感じます。先生方がこれに関われる余白をもっと生み出すことが必要ではないでしょうか。
- 全ての会議体を把握しているわけではないが、例えば学校運営協議会は大変丁寧に行われていると考える。
- 熟議ミーティングなどを先生たちがチームをつくって全体で取り組んでいるから

質問③：学校は、働き方改革を進め、職場の風通しをよくしたり、業務改善に努めたりしている。

- 通知表の見直しなど、教員の共通理解のもと実施できたことが素晴らしいと思う。
- 学校内でできる範囲は進めていると思います。（2学期評価制など）
- ICT ツールを活用したり、教員間の情報共有は進めていますが、、さらに教職員の業務量そのものを断捨離していかないと先生がたの余白が増えないように感じています。そのために、教育委員会、保護者、地域も含めた熟議をしていったらいかがでしょうか？
- 学校運営協議会での様子から働き方改革を進めようとする姿勢が伝わってくるため。先生方の業務時間が過ぎた後に学校に連絡をとりたいと学童クラブにご相談があったケースがあり、学童クラブ以外のお子さんのことで急を要した為、その時は職

員室に先生方がいらっしゃるに对应していただきました。保護者への周知は行われていると思いますが、緊急時のことも含めて保護者の皆様のご理解が必要としました。

- 先月からの全学年便りは良い案だと思います
- コロナの影響が大きかった令和3年度のほうが様々な試行錯誤が行われていたように感じるため、「よく」ではなく「ほぼ」当てはまるとした。
- 校長先生や教頭先生が他の先生方とコミュニケーションを良くとっているように見受けられます

質問④：学校は、教職員一人一人に教育公務員としての自覚と誇りを持たせ、互いに連携・協力しながら事故防止に努められる環境づくりをしている。

- アンケート結果から
- よくわかりません。
- 努めていると思うが、個人の志には差がある教員もいると思う

質問⑤：学校は、安全に配慮し、危機管理体制を整えている。

- さくら連絡網で不審者情報の呼びかけが時々ありますが、『またか』と思わず、常に危機ととらえることが大切だと自戒をこめて感じている。マンネリ化せず、学校からの必要な呼びかけ等も続けてほしい。

質問⑥：学校は、地震や火災などを想定した訓練を計画的に実施し、効果的な防災教育を行っている。

- 広沢小は通学班がないので登下校中の災害時の行動、避難を徹底しておく必要を感じる。
- 校庭の様子から様々な時間、シチュエーションで行われているのがわかるため。
- 地域の各種団体と連携して地域全体として防災に取り組めるとよいと思います

質問⑦：学校は、コミュニティ・スクールとして、家庭での教育や地域の教育資源等を教育活動に生かすなど、保護者や地域と連携した学校運営を推進している。

- 個人的にあまり協力できていないのが、心苦しいのですが、今年度の行事など、広沢エリア news などの配信から地域の連携を感じている。
- 熟議に全教職員が参加しているし、活かす取り組みをしていると思います。ただ、熟議で出てきた内容をアクションに移すプロセスが弱いと感じています。先生の時間的余裕づくりと、これを活かすことによる効果を実感できることが大切なので、鶏が卵化の関係でもありますが。。
- まだ始まったばかりではあるが、地域が関わる学校運営がここ2年くらいで進んだ印象がある。これを継続させたい。
- ICT を活用して情報共有をしている

質問⑧：学校は、「社会に開かれた教育課程」を志向し、家庭や地域と学校教育の目標や内容を共有している。

- 校長先生のかかわり版によるところも大きいと思う。
- 「社会に開かれた教育課程」とするには、子どもがどうあって欲しいか、そのために何をどう学ぶか、を共有することが大切です。 これを考えるための熟議や対話の機会がもっと増えたらよいと思います。
- ※質問⑦の理由と同様。

質問⑨：児童は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。

- アンケート結果から
- 子どもたちや保護者の関連項目への評価が昨年よりもアップしているので、功を奏しているのだと思います。
- 放課後残って学習を見ていただいたり、子どもたちのノートを見ると先生方の熱意が伝わってきます
- 教員の指導力に差があるのでなんとも言えません

質問⑩：学校は、学力向上（主体的・対話的で深い学びの実現等）を目指し、児童の実態に基づいて授業改善に努めている。

- 公開授業参観させていただいたときも感じましたが、主体的 対話的授業の工夫も見られ、子どもたちが生き生きと学習に取り組んでいた。
- 授業改善に努めていると思います。さらに、PBL や探求型学習の導入を進めていただけたら良いと感じます。
- コロナ禍では出来なかった授業参観が復活し、授業を見れるようになり、こうした取組を意識して授業が行われていることを再確認出来た。

質問⑪：学校は、外国語等の学習や ICT の活用など、これからの時代に必要な学力の育成に力を入れている。

- 子どものアンケート結果からタブレットの積極的な学習への活用がわかったから。
- ICT も導入していますが、先進事例なども参考にしながらさらなる活用を考えていただけたら幸いです。 ⇒Society5.0 時代を生きる子供たちのために！！
- 他の小学校では月に一度午後の授業は全員タブレットで行う取り組みもあるようです。
- 各学年で頑張っていると思います
- ICT の活用は推進してほしいと願うが、「タブレットはいつ使うか？」を児童に明示し、持参が不要な日は自宅においておけるようにする等、児童の持ち物が重くなる事が無いようにすべきである。

質問⑫：学校は、児童の実態や日々の実践、学力調査等を基に、カリキュラムマネジメントを確立し、よりよい教育課程の編成に努めている。

- より充実させてほしい。
- いろいろ取り組まれていると思いますが、さらに教科横断的なマネジメントを考えていただけたら良いと感じます。

質問⑬：学校は、児童が学習ルールを理解するなど、学習規律の確立を図っている。

- 学校としての学習ルールがしっかり確立し、教職員が共通理解して指導にあたっていると感じるから。

質問⑭：学校は、児童一人一人に寄り添い、いじめや暴力等を見逃すことなく、共通理解のもとに指導している。

- アンケート結果から職員室での話し合いを通じて共通理解をはかっているのがわかる。

質問⑮：学校は、児童の実態把握に基づき、規律ある指導の工夫・改善に努めている。

- アンケート結果から

質問⑯：児童は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた規律ある態度を身に付けている。

- 各学年、発達段階に応じた指導が継続して積み重なっていくから、最終的に自覚をもった高学年になるのだと考える。広沢小らしく、広い心でさわやかに継続して行ってほしい。

質問⑰：児童は、体育の授業や外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。

- 元気に外遊びをしている様子がうかがえること、体育が好きな子が多いから。
- 広沢小のお子さんは外遊び等運動が大好きなお子さんがとても多いように感じます。体育の時間も先生方の授業がとても楽しそうで、体育が嫌いというお子さんは少ないように思います。
- 以前から言われているマラソン大会や中止になった縄跳び大会を行う等具体的な「運動」を示した方がわかりやすい
- 体育の授業は熱心に取り組んで頂いているが、本校は通学時間も短めで、帰宅後の外遊びも場所の問題などもあるため、より活発に体力向上に取り組む必要性を感じている。
- 外遊びが活発になるように地域の高齢者を休み時間に呼んではどうかとアイデアが出るほどでした

質問⑱：学校は、児童の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。

- コロナの影響もあり、体育集会 その他の具体的取り組みがわからないから。
- ※質問 17 と同様の理由。

質問⑲：学校は、普段から児童に食育や体の健康に関する指導を行っている。

- 保護者のアンケート結果から
- 季節や行事に合わせたメニューなど熱心に取り組んでいる。

質問⑳：学校は児童のよさを見つけ、児童を理解しようと努めている。

- 保護者のアンケート結果から、先生方の子どもへの接し方が素晴らしいのだから。
- 子どもたちと話していると小学校の先生方が大好きな気持ち、尊敬している気持ちが伝わってきます。それはこの質問のような姿勢があってこそだと思います。

質問㉑：学校は児童の現状をとらえ、新しい時代を生きる児童に必要な力の育成に努めている。

- 新しい時代をどう捉えるかの共通理解をした上で、実態から必要な力をつけることが見えてくると考える。
- 「新しい時代を生きる児童に必要な力」がどういうことか？そのための育成のしかたは？などを熟議や対話によりさらに具体的にしていってほしいと思います。

質問㉒：その他・ご意見・改善策等ありましたら、ご記入ください。

- 継続して熟議が実施できてよかった。通知表、体育着 などの見直しが、スピード感をもって実行できたことはよかったと思う。
- 締切が過ぎてしまい申し訳ありません。
- 広沢小学校はコミュニティ・スクール活動に積極的に取り組んでおられて素晴らしいと感じております。今後も、子供たちがワクワクし、先生方が生き生きする、学校を目指して、保護者や地域とともに進めていけたらよいと思います。引き続きよろしくお願いたします。
- 主語が「学校」で質問されても返答しづらい。子どもへの接し方、保護者への対応等各教員の力量の違いがありすぎているので。教員とて、子どもの接し方や保護者への対応等に悩まれる方もいると思います。特に新人で迷っている人に対してのフォローはもっと必要だと思います。この点フォロー出来てくると、学校評価も総合的に上がるのではないのでしょうか。保護者にとって結局は、「学校」＝「各教員」になるので。